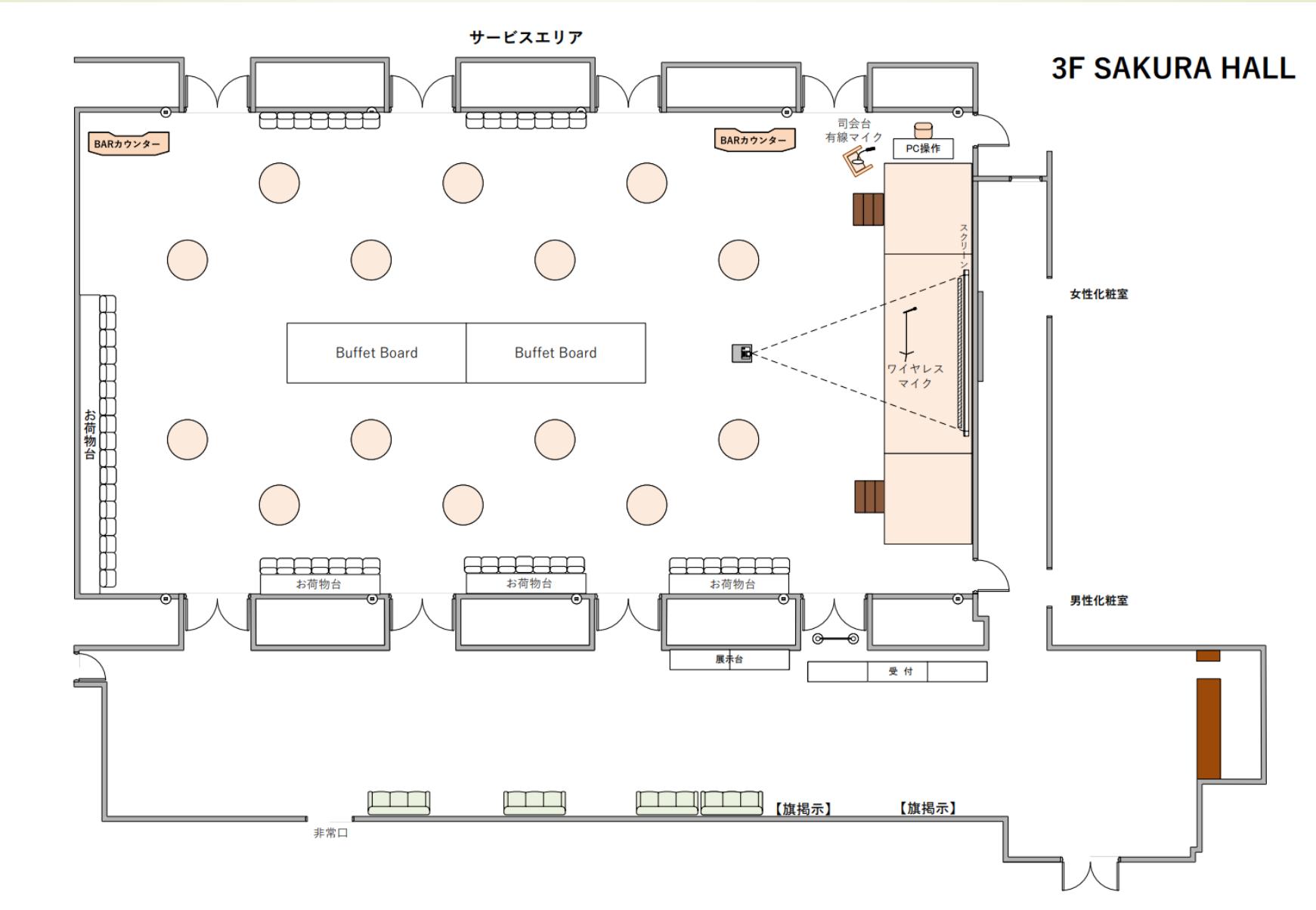


埼玉大学硬式テニス部創部60周年記念

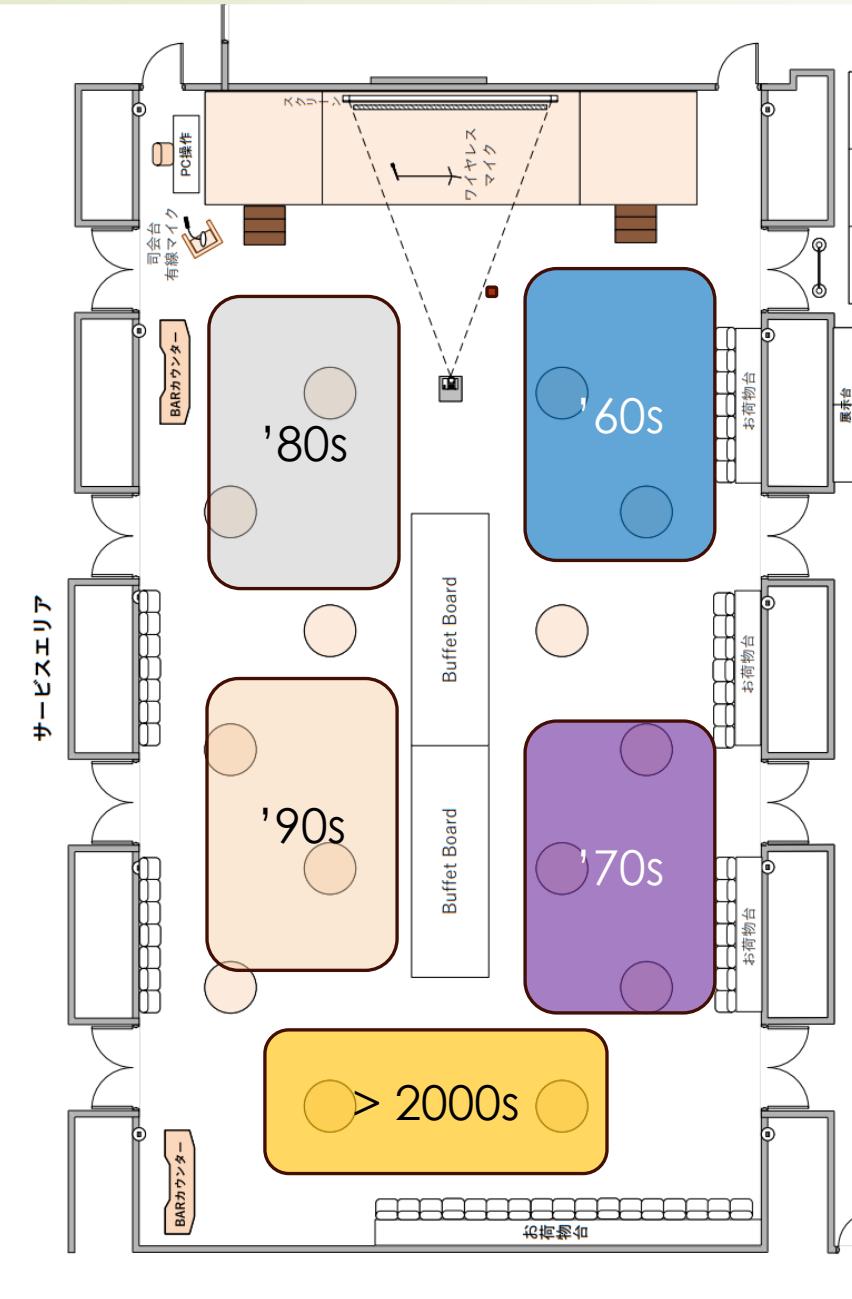


埼玉大学硬式テニス部 創部60周年記念パーティー スケジュール					
時刻		登壇者(敬称略)	オンライン参加	司会進行	座席
	18:00	受付開始（名札の配布、BGMリクエスト）			
	18:30	開会 会場説明 スタッフ紹介・式次第説明 (司会者 滝田・河野に進行を任せせる)	栗原		
	18:35	乾杯 歓談	小田井		
1hr	18:45	創部時代のお話 (大学キャンパス変遷の歴史とテニスコート)	持田		
	19:00	増田先輩 文化勲章 瑞宝章 叙勲の件 歓談	増田 栗原	岡田茂夫 一山貴洋	
	19:15	現役部員紹介 歓談	山下・今泉		
	19:30	各卒業学年の紹介 Group 20 Group 30 Group 40 Group 50	21人 17人 17人 6人		
1hr	20:15	「まっちぽいんと」紹介 総会ダイジェスト (外部コーチ、倉庫の設置、年会費徴収方法 部活顧問の先生変更など) 初打ち会の復活について 現役部員応援歌 We are the champion 合唱 現役部員エール	栗原 栗原 全員		
	20:30	閉会			

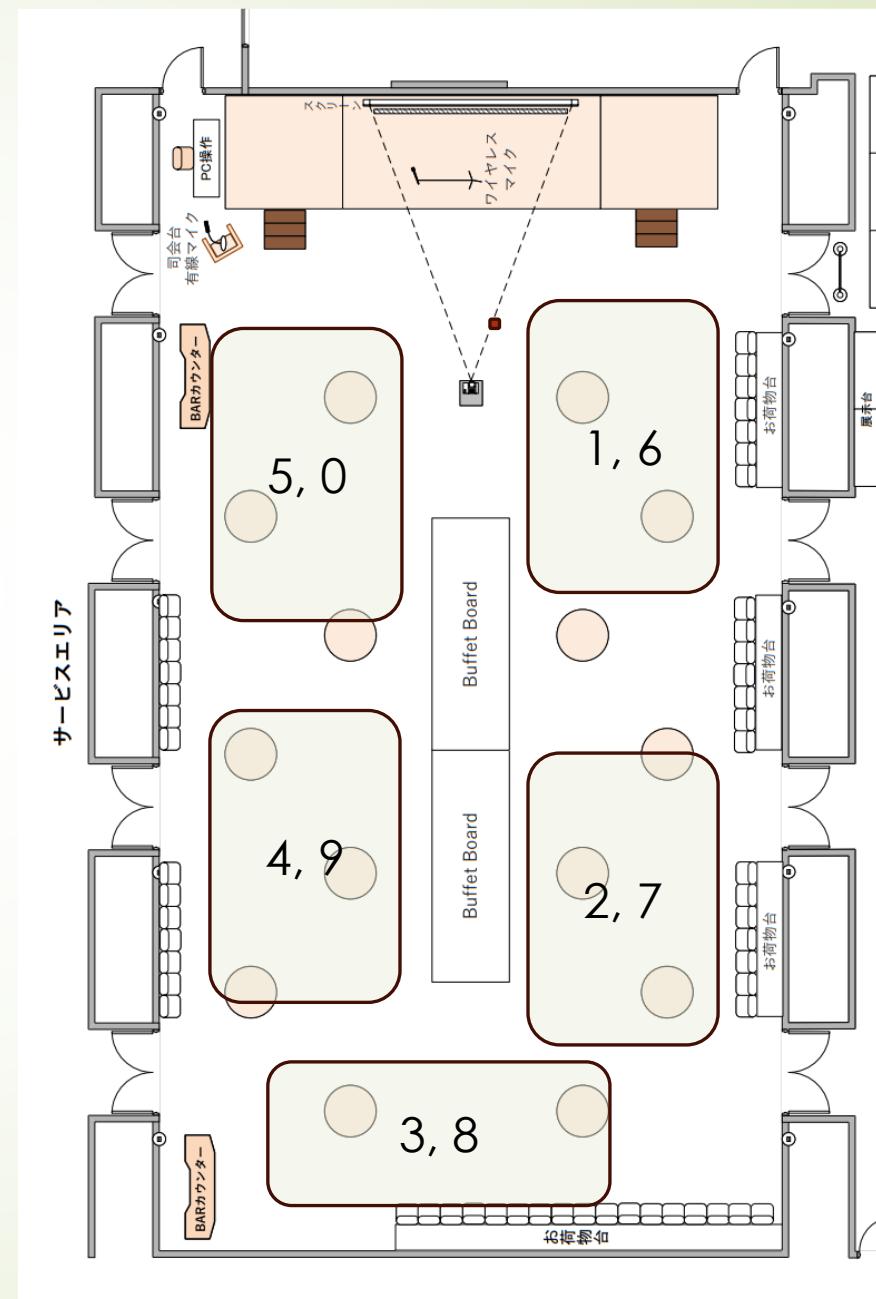
会場レイアウト



Home Position

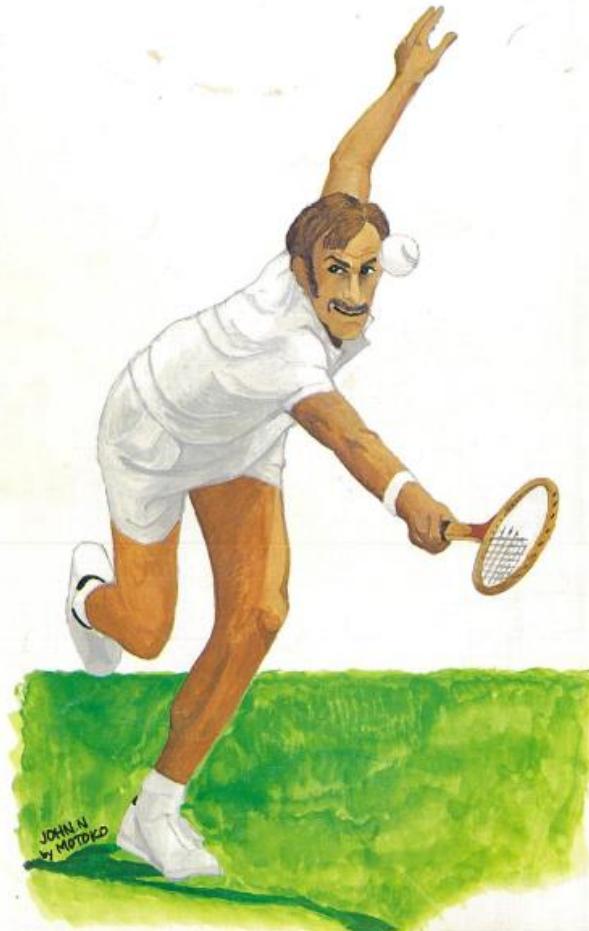


席替え後 (名札の末尾)



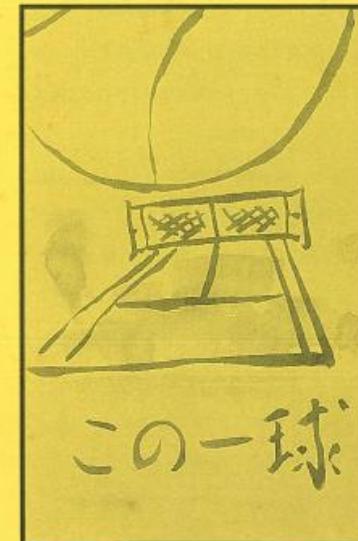
伝承と創造

(埼玉大学硬式庭球部20周年記念誌)



まちほんと

(埼玉大学硬式庭球部40周年記念誌)



思い出の一コマ（1）—昭和37年（1962）～昭和46年（1971）—



埼玉大学鹿島台クラブの名称が討議され、承認された鹿島台クラブ総会が行われた東急文化会館（ゴールデンホール）
(昭和37年秋、撮影 平成13年)



テニスコート（①）補修作業
北浦和キャンパス
(昭和34年)



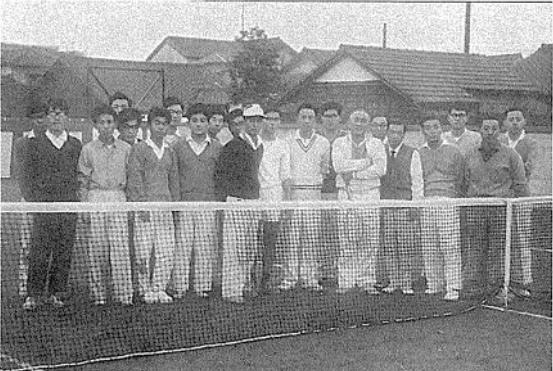
テニスコート（①）でのプレー
北浦和キャンパス
(昭和34年)

北浦和キャンパス

S = 1 : 10,000

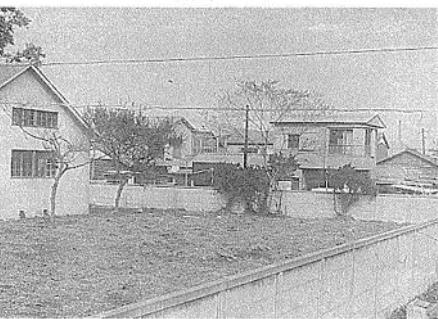


上図の■印はコートです。



デビスカップ候補高山選手をむかえての
新設コート（②）開き。
北浦和キャンバス
(昭和36年)

□：旧制浦高の先輩



新設コート（②）着工前（昭和36年）



新設コート（②）造成工事（昭和36年）



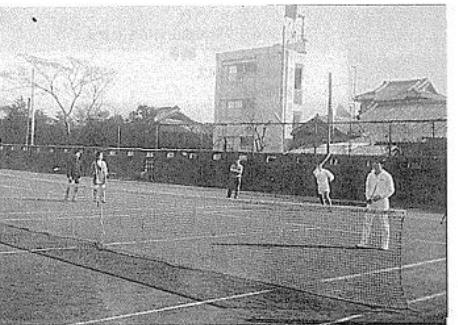
テニスコートで（昭和36年）

中島 伊藤 望月 齋藤
山中 角田 持田 西村

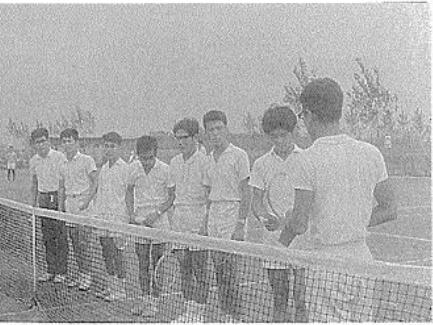


テニスコートで（昭和36年）

奥村 齋藤 持田
角田



第1回都立大学との定期戦
東京都立大学テニスコート
(昭和37年秋)



第12回関東甲信越大会
宇都宮
(昭和38年)



関甲信大会(新潟)の試合を終えて、
松田先生とともに
(昭和42年8月)



卒業式の日(昭和43年3月)

村
喜
村
多
若
井



新部室の前で(昭和38年)

井
浅
増
中
篠
原
持
上
井



松本城を背景に開甲信大会
参加選手の記念撮影
(昭和41年8月)



昭和43年卒業生からの記念の額
北浦和キャンパス部室前
(昭和43年3月)



コーチの小池さんと共に
北浦和キャンパス(昭和42年頃)

小
池
口
伊
藤
高
橋
則



文理学部新コートにて
(昭和38年)

平
河
内

青
藤

奥
喜
井
上

小
島
伊
藤

篠
原
望
月

大
村
高
橋

若
井
高
橋

松
水

別
所
德
屋
柳
田
高
橋

堀
口
(
)



北関東五大学大会優勝メンバー(男子初)
川口青木公園テニスコート
(昭和41年11月)

奥
山
多
田
戸
村
中
川
高
橋
若
井
奥
藤
郷
松
水
別
所
德
屋
柳
田
高
橋

堀
口
(
)



テニスコートに集合
北浦和キャンパス
(昭和42年)



新入生歓迎ハイキング・御岳山
(昭和43年5月12日)



北関東5大学大会・男女アベック優勝
宇都宮市営コート
(昭和43年10月16日)



菅平合宿での昭和46年卒業の面々
(昭和43年8月11日)



恒例の新年初打ち会
大久保キャンパス
(昭和48年1月2日)



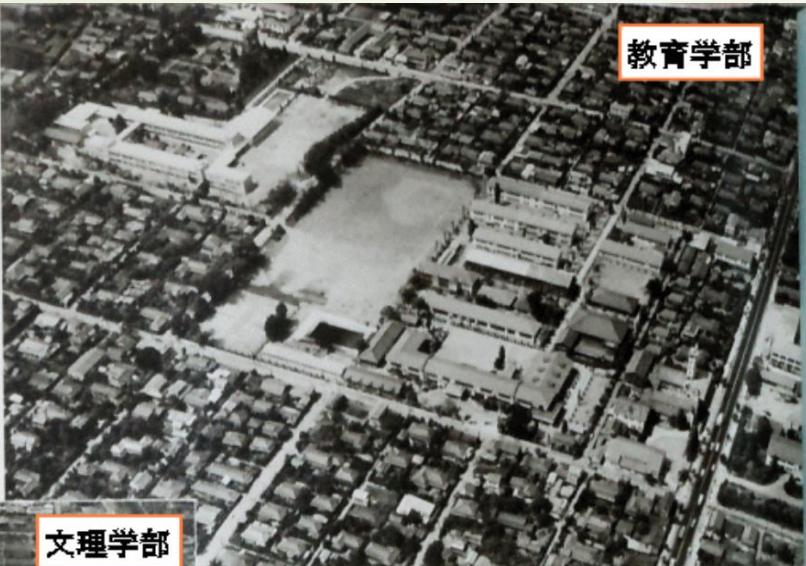
森平先輩(旧制清高卒)と共に
(昭和41年8月)

中 川 幸 田

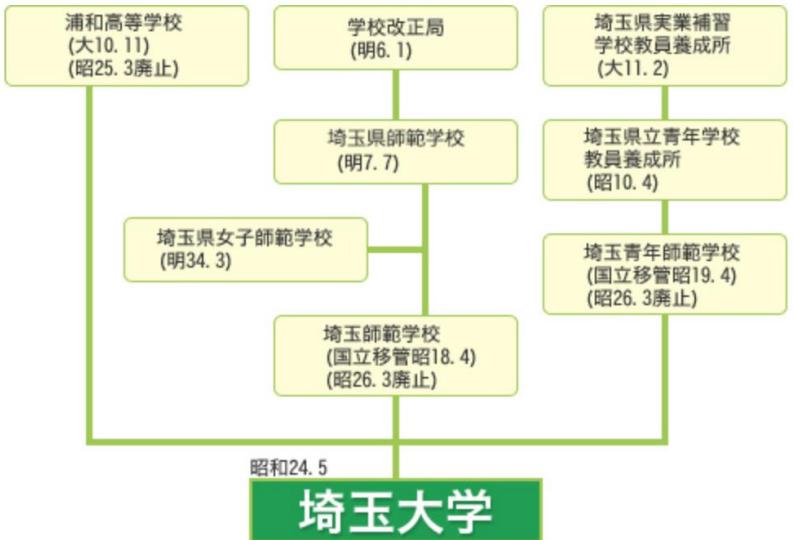




空から見た 埼玉大学



沿革



埼玉大学開学式
(1949年11月3日)

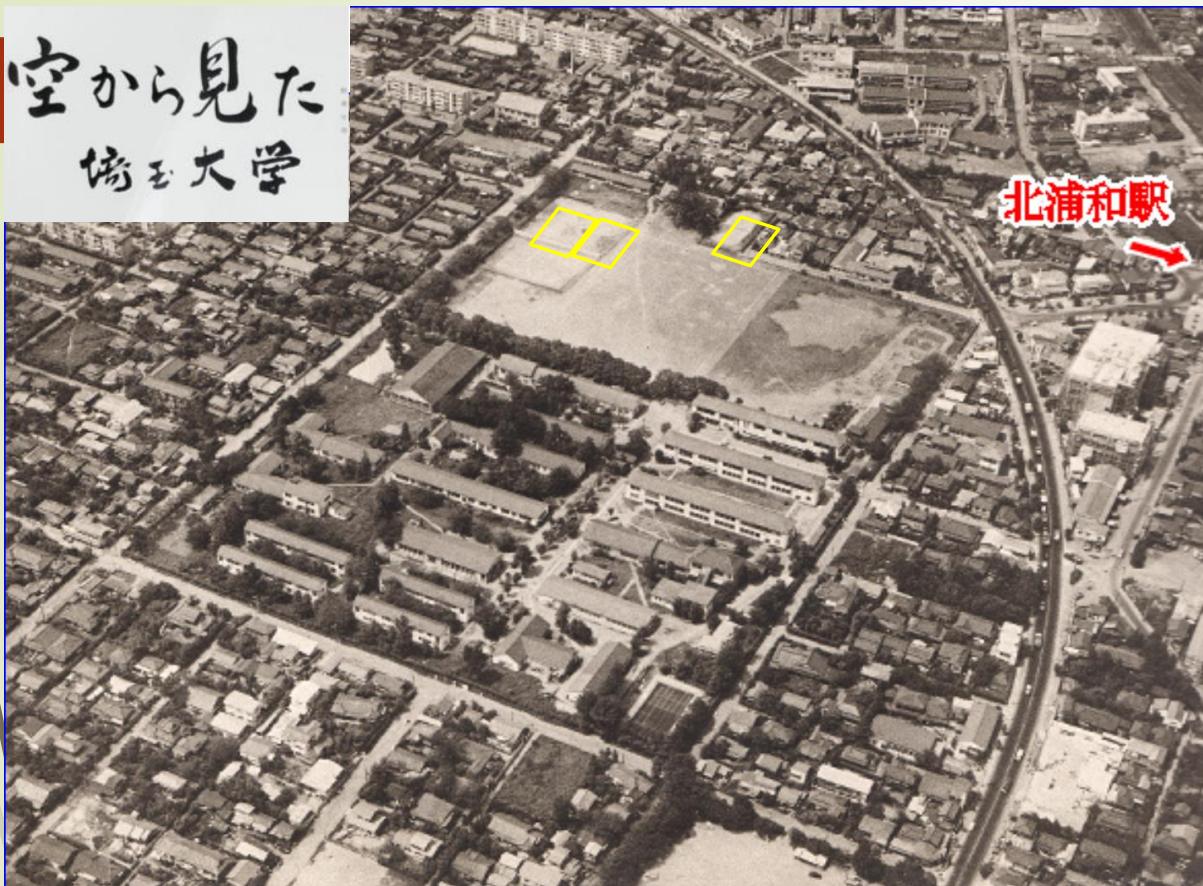


文理学部正門



教育学部正門

空から見た 埼玉大学



文理学部キャンパス

経済科の恩師

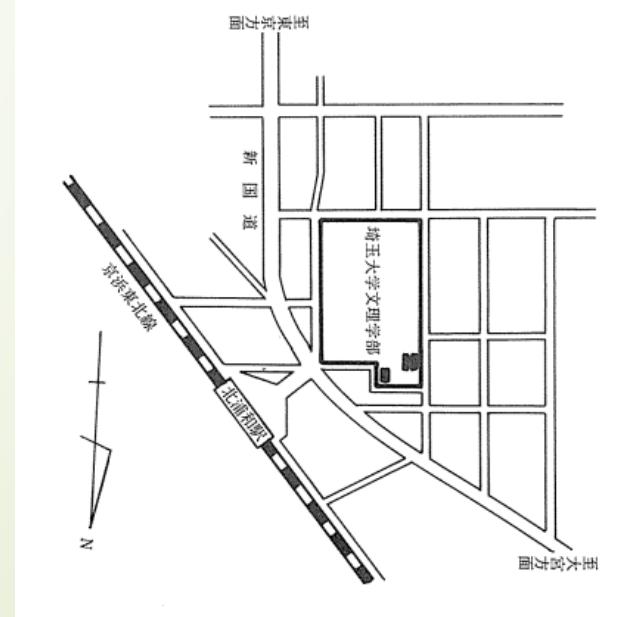
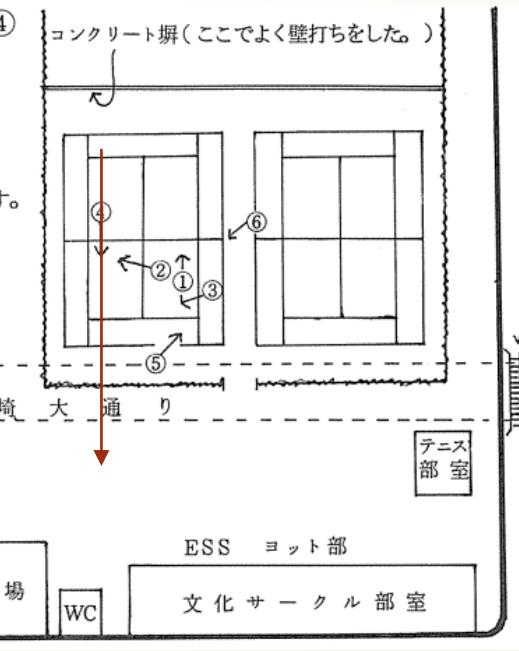
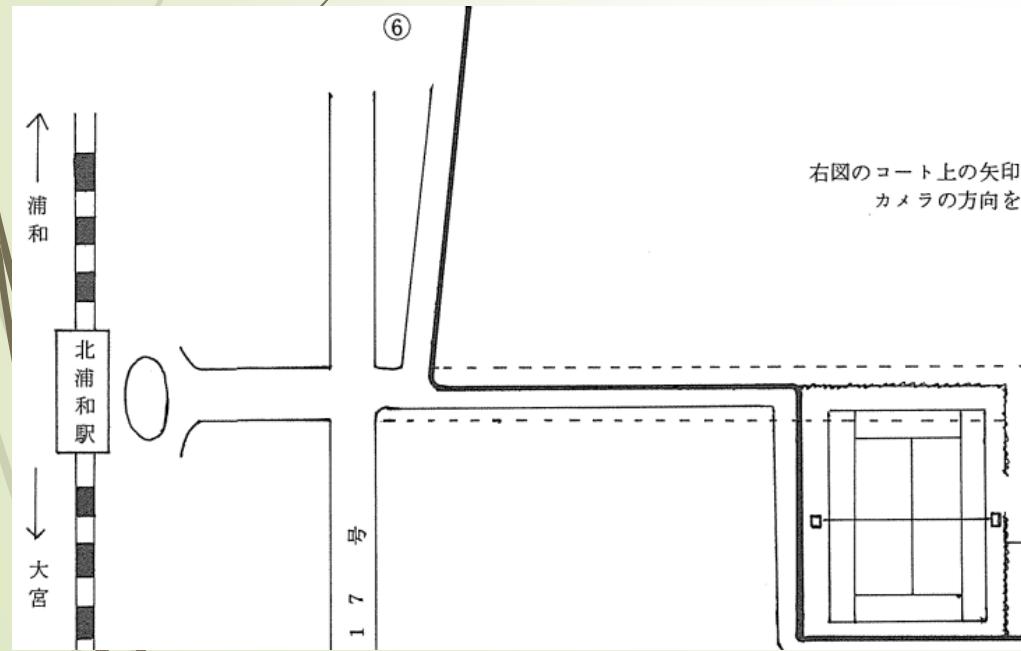
左から
工藤達教授
都築栄助教授
椿山武夫教授
新飯田宏助教授

A black and white portrait of Professor Hidetoshi Kudo, wearing glasses and a suit, is shown in a circular frame. Below it is a group photograph of six men in suits, identified as faculty members. The names of the faculty members are listed around the photo:

- 右上: 大場幹郎講師
- 右下: 小菅義助教授
- 左下: 小山博也助教授
- 左上: 桐川秀雄助教授
- 後列左: 池中英田文理学部長
- 後列右: 新飯田宏助教授
- 前列左: 都築栄助教授
- 前列右: 椿山武夫教授

文理学部経済科恩師

北浦和公園



埼玉大学硬式テニス部 発祥の地







文理学部正門



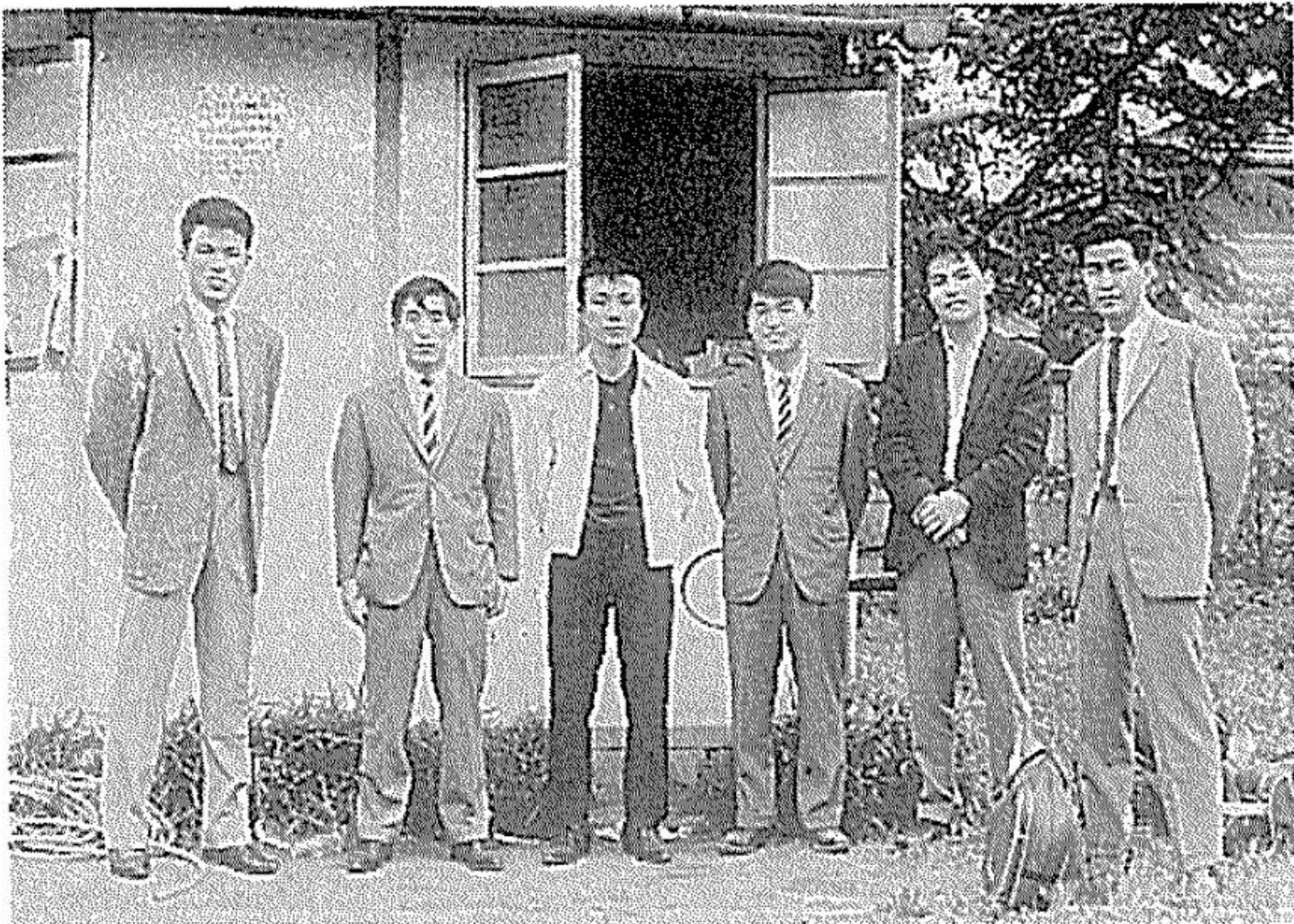
文理学部木造校舎：殆どが元兵舎が校舎であった



校舎の一つ

赤城山荘(埼大・群大・茨大・栃大共用)

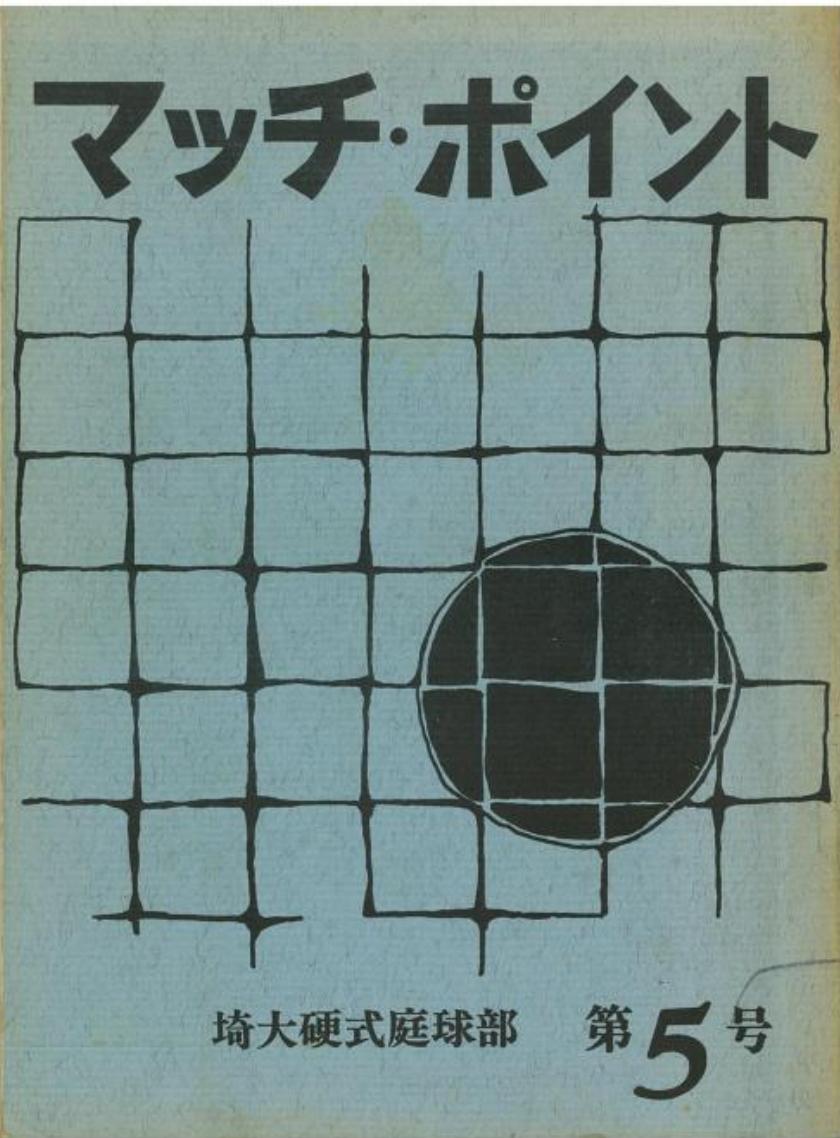




新部室の前で（昭和38年）

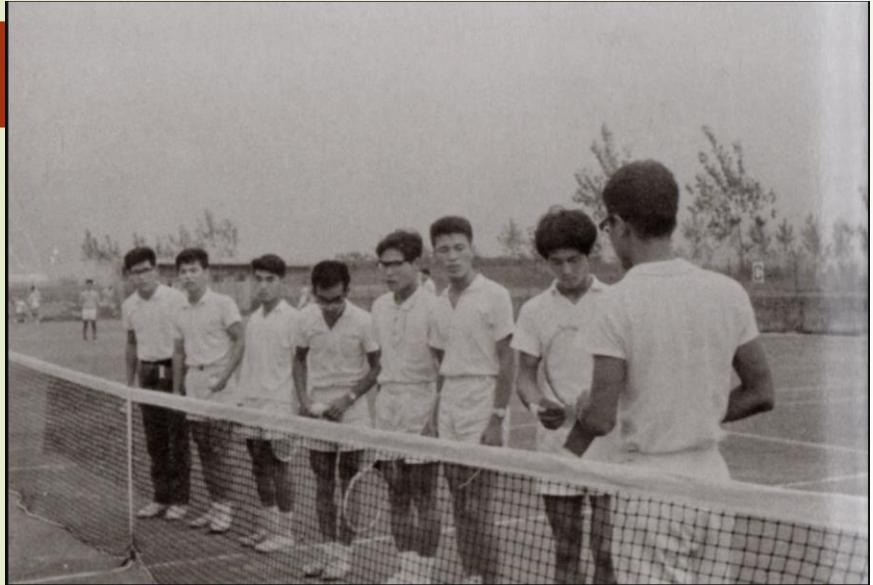
井上 浅井 増田 中島 篠原 持田





埼大テニス部の未来像

伊藤 誠次 著



第12回 関東甲信越大会 宇都宮 (1963年)



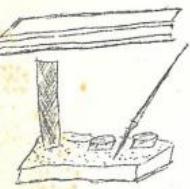
経
済
科

● 関 口 黙	平 野 順 久	円 山 肇	染 谷 喜 久 夫	小 沢 澄	大 竹 千 秋	宮 松 正 憲
● 中 島 健 一 郎	沢 田 実	野 村 久	伊 藤 誠 次	黒 須 宣 男	菊 地 洪	田 口 安 男



埼大テニス部の未来像

伊藤誠次



一九六八年度北関東リーグでの優勝おめでとう。森田・藤田君よくやつてくれました。ほんとうにありがとうございました。四年生の諸君にもよい思い出になるでしょう。六九年も美酒を飲もうではないか。

さて、テニス部の将来の事を少し考えてみたいと思う。まず第一に考えなくてはならない事は、「強いクラブ」である。すなわち関東学生リーグで優勝し昇部し続ける事である。日本学生界で埼大テニス部強しを認めさせる事である。△埼大△テニス、テニス△埼大△を世間に認めさせる事である。第二番目には、「良いコート」を造る事である。よい環境の下で練習を積み重ねねば強くなる。このことは大切である。現在のコートに満足している人はためなのである。コートの面数及びその質をベーシックな問題として解決しておかなくてはならない。それに関連し部室、シャワー室、合宿所等も立派なものもつ必要があるのである。そして最後は「よき部員」である。皆んなで決めた目標にエネルギーを注げる部員である。「良い環境」と「良き部員」がそろえば「強い埼大」が実現するわけである。

具体的な提案に移ろう。先ず環境の面についてであるが一日も早く下大久保へ引越ししたまえ。コートは4面だそうだが立派なコートを作りたまえ。コートの周りに草が生えるコートを作つてはならない。一年中使用できるコートを作るのである。クレー以外のコートも一案であろう。土質・水掛け・散水設備・風対策等最高のものを求めよ。練習板も作ったほうがよいであろう。△持田・西村大先輩が荒地からコートを作つたことを忘れてはならない。十名にもならない人数でスコップを持ってコートを作つたのである。△ よいコートがなくては効果があがらないのである。次に部室・シャワー室等についても積極的に取り組まなければならない。学生自治会を通し正々堂々と確保せよ。一番練習する部が部室をもらうのは当然ではないか。もし全体会のワクが決められ部の活動に支障をきたすなら学校にお願いして、部室を増設したまえ。

△私の時は部室がなく自治会へも正面及び裏工作もしが実現できず皆んなで部室を作つたわけである。あれから数年たつが七〇名が現情に甘んじているのは、はがゆい△その時、私はO.B会にもすゝんで協力を呼びかけるつもりである。諸君の提案を期待したい。(一言付け加えておくが国立大学に於いてはやたらに好きな所に立たれないので事務当局とよく相談する必要がある)以上の点は現役の諸君のエネルギーによつて一日も早く

く実現される事を望む次第である。よい器にはよい水が入るべきである。立派なコートにはよき部員が集まらなければならぬ。スポーツを心から好きな人が集まつてほしいのである。願わくば運動能力のすぐれた人がよい将来は入部される方でテニス部のレベルを理解し入部される部になると思うのだが、早くそうなってほしい。このことは非常に誤解を生みやすいのでいざれ説明したいと思っているのだがこゝでは次のことだけは述べておきたい。すなわち、テニス部も発足以来月日を重ね八年になるが新入生が入部されて毎年練習時間が決定されるのは反対なのである。埼大のテニス部は一週六日、毎日三時から練習という事が決定されているとするならその条件で練習に参加できる人が入部してほしいのである。(一週六日、毎日三時からは仮定である。)すなわち入部者に一年間のスケジュールを示し決断してもらのが必要だとと思う。それだけの意志をもった部員でなくては強くならないと思う。

△「良い環境」、「良き部員」によって「強い埼大」が実現されるであろう。そのためには、今まで述べた二つの条件として目標を具体的に設定しなければならない。例えは、部創立十周年までに関東学生リーグ優勝し昇部すること。北関東、関甲信優勝等、目標を考えなくてはならない。六年かゝつて初めて優勝したことには不満をもたなくてはならない。毎年毎年の目標と同時に三年後五年後のテニス部の位置を設定していくか

埼大テニス部の未来像

伊藤誠次

一九六八年度北関東リーグでの優勝おめでとう。森田・藤田君よくやってくれました。ほんとうにありがとうございました。四年生の諸君にもよい思い出になるでしょう。六九年も美酒を飲もうではないか。

さて、テニス部の将来の事を少し考えてみたいと思う。まず第一に考えなくてはならない事は、「強いクラブ」である。すなわち関東学生リーグで優勝し昇部し続ける事である。全日本学生界で埼大テニス部強しを認めさせる事である。△埼大＝テニス、テニス＝埼大△を世間に認めさせる事である。第二番目には、「良いコート」を造る事である。よい環境の下で練習を積み重ねれば強くなる。このことは大切である。現在のコートに満足している人はだめなのである。コートの面数及びその質をペーパックな問題として解決しておかなくてはならない。それに関連し部室、シャワー室、合宿所等も立派なものを持つ必要があるであろう。そして最後は「よき部員」である。みんなで決めた目標にエネルギーを注げる部員である。「良い環境」と「良き部員」がそろえれば「強い埼大」が実現するわけである。

具体的な提案に移ろう。先ず環境の面についてである
が一日も早く下大久保へ引越したまえ。コートは4面だ
そうちが立派なコートを作りたまえ。コートの囲りに草
が生えるコートを作つてはならない。一年中使用できる
コートを作るのである。クレー以外のコートも一案であ
ろう。土質・水はけ・散水設備・風対策等最高のものを
求めよ。練習板も作つたほうがよいであろう。||持田
・西村大先輩が荒地からコートを作つたことを忘れては
ならない。十名にもならない人数でスコップを持ってコ
ートを作つたのである。|| よいコートがなくては効
果があがらないのである。次に部室・シャワー室等につ
いても積極的に取り組まなければならぬ。学生自治会
を通し正々堂々と確保せよ。一番練習する部が部室をも
らうのは当然ではないか。もし全体のワクが決められ部
の活動に支障をきたすなら学校にお願いして、部室を増
設したまえ。

||私の時は部室がなく自治会へも正面及び裏工作もし
たが実現できず皆んなで部室を作つたわけである。あれ
から数年たつが七〇名が現情に甘んじているのは、はが
ゆい|| その時、私はOB会にもすゝんで協力を呼びか
けるつもりである。諸君の提案を期待したい。一言付
け加えておくが国立大学に於いてはやたらに好きな所に
立てられないでの事務当局とよく相談する必要がある。
以上の点は現役の諸君のエネルギーによつて一日も早

く実現される事を望む次第である。よい器にはよい水が入るべきである。立派なコートにはよき部員が集まらなければならぬ。スポーツを心から好きな人が集まつてほしいのである。願わくば運動能力のすぐれた人がよい将来は入部される方でテニス部のレベルを理解し入部される部になると思うのだが、早くそくなつてほしい。このことは非常に誤解を生みやすいのでいざれ説明したいと思つてゐるのだがこゝでは次のことだけは述べておきたい。すなわち、テニス部も発足以来月日を重ね八年にならが新入生が入部されて毎年練習時間が決定されるのは反対なのである。埼大のテニス部は一週六日、毎日三時から練習という事が決定されているとするならその条件で練習に参加できる人が入部してほしいのである。（一週六日、毎日三時からは仮定である。）すなわち入部者に一年間のスケジュールを示し決断してもらうのが必要だと思う。それだけの意志をもつた部員でなくては強くならないと思う。「良い環境」、「良き部員」によつて「強い埼大」が実現されるであろう。そのためには、今まで述べた二つの条件として目標を具体的に設定しなければならない。例えば、部創立十周年までに関東学生リーグ優勝し昇部すること。北関東、関甲信優勝等、目標を考えなくてはならない。六年かゝつて初めて優勝したことには不満をもたなくてはならない。毎年毎年の目標と同時に三年後五年後のテニス部の位置を設定していくか

なくてはいけないのである。北関東では三年目に優勝し一応目標を達した。関甲信は七年間経過したが毎年向上しているとはいえ、優勝していない。関東リーグ六年間出場しているが結果は毎年向上しているにかゝわらずブロック優勝していない。毎年努力はしてきた、だが数年間優勝できなかつたのである。三・五年間でこの目標を実現する方法を考えなければならないのである。短期的な目標と同時に長期的に埼大テニス部の位置に目標を与えてはならないのである。目標を定めなくては進歩がない。目標に向つて努力し実現するのが人生の歓びではないか。諸君の前にはすばらしい目標がたくさんかゝげられなくてはならない。そして実現していかなくてはならないと思う。諸君が部の目標を理解し協力すれば、「強い埼大」はすぐに実現するであろう。

鹿島台クラブ総会ダイジェスト

外部コーチ：

目的：基礎強化

状況：2023年4月より、中村由美子コーチより、1~2回/月指導を受けている

指導内容は、新主将の加藤、今泉と中村由美子コーチにより協議して実施。

指導費用：鹿島台クラブより援助。～15000円/月

倉庫の設置：

目的：熱中症対策、部室エリアの拡張

状況：大学側に許可申請中

費用：鹿島台クラブ有志からのカンパにて捻出する予定。

年会費徴収方法

従来：交歓会イベント時に集金していたが、コロナ禍でのイベント中止等で財源が枯渇。

今後：来期より銀行振り込みに一本化する。（納期は、毎年度4月30日）
(効果：集金会計の手間の削減、エビデンスの明確化。

部活顧問の変更について

現顧問の高須賀教授が、来期より千葉大に異動するので、後任顧問の選定中。

物品寄付申込書

令和 年 月 日

国立大学法人 埼玉大学
学長 坂井 貴文 殿

寄付者	鹿島台クラブ [埼玉大学硬式テニス部 OB 会]
氏名(団体名)	栗原 英男(鹿島台クラブ会長)
住所	東京都東久留米市南沢3-5-12
連絡先	080-5001-8823

下記のとおり、寄付します。

記

1. 寄付物品について

品名(メーカー・品番等)	数量	単価	金額	備考(寸法等)
FP-2622SD	1	456,000	456,000 円 (税込)	
			円 (税込)	

2. 寄付の目的 (例: 埼玉大学の教育環境の発展に寄与するため)

埼玉大学硬式テニス部が練習に使用する器具(ボール、ボールカートなど)の保管

3. 設置が必要であれば、その設置希望場所(例: 課外活動共用施設内)

テニスコート横の壁打ちコートと通路の間の空き地

4. 設置が必要であれば、その設置工事費用を可能かどうか(どちらかに○を)

負担可能 負担不可能

5. 想定される使用者(例: 課外活動学生全般)

埼玉大学硬式テニス部

6. その他

※寄付物品の使用が分かるもの(カタログ等)を併せて提出願います。



設置希望場所現況 (2023年7月22日現在)



2001年11月度 JOPランキング 《2001年11月30日付 女子シングルス 1位～1073位》 ※2001年11月26日WTAランキング採用

順位	タイ 会員 コード	氏名	所属	身分	都道府県	アベレージ ポイント
----	-----------------	----	----	----	------	---------------

1	F01202	杉山 愛	プロ・日本テレコム
2	F01222	浅越 しのぶ	プロ・NEC
3	F01190	小畠 沙織	プロ・ヨネックス
4	F00970	藤原 里華	プロ・北日本物産
5	F01183	佐伯 美穂	プロ・フリー
6	F00986	森上 亜希子	プロ・ミキハウス
7	F01203	吉田 友佳	プロ・ミキハウス
8	F01223	宮城 ナナ	プロ・チーム スカンヂナビア
9	F00984	井上 青香	プロ・フリー
10	F00979	久松 志保	プロ・チーム スカンヂナビア
11	F00983	高瀬 礼美	荏原製作所
12	F01210	平木 理化	プロ・NTT
13	F00969	北村 由美子	北村化学工業
14	F00277	竹村 りょうこ	プロ・荏原製作所
15	F00249	青山 香織	プロ・田辺工業
16	F00987	伊東 千佐世	竜南テニスクラブ
17	F00985	岡本 聖子	プロ・チーム スタッフ
18	F00931	金城 理美	プロ・フリー

プロ 姫塚川旦 8330.00



103	F01640	長谷川 香織	三菱重工横浜ビル			
104	F04784	伊藤 和沙	園田学園高校			
105	F00975	永富 恵子	プロ・ワコール			
106	F01418	谷 由美子	テニスユニバース			
107	F03366	中村 志舞	パークインターナショナルテニスアカデミー			
108	F01653	尾藤 友美	ビボーンテニスクラブ			
109	F01295	持田 志保	筑波大学			
110	F01328	糟屋 友里	ビッグK			

アマ	大阪府	18.45
プロ	神奈川県	18.41
アマ	東京都	17.41
アマ	神奈川県	17.18
アマ	静岡県	17.18
アマ	茨城県	17.18
アマ	東京都	15.77

埼玉大学鹿島台クラブ会則

第1条（名称）本クラブは埼玉大学鹿島台クラブと称す

第2条（目的）本クラブは会員互助の親睦をはかると共に埼玉大学硬式テニス部の充実と発展に寄与することを目的とする

第10条（総会）総会は会長が招集し 原則として年1回鹿島台交歓会の日に行う事とする

1. 総会は、次の事項を決定する

- ① 会長の選出
- ② 代表幹事の承認
- ③ 会則の変更
- ④ 代表幹事が依頼した事項

2. 総会は会員の出席者の過半数の賛同によって議決する

第11条（会計）本クラブの経費は年会費事業益金および寄付金をもってこれに充てる

1. 年会費は、代表幹事会に図り総会で決定する

2. 本クラブの会計年度は4月より翌年の3月とする

3. 代表幹事会は会計監事の監査を経て会員に会計報告を行うものとする

会計年度初めに入金を確認し、事業計画を立てるという運用が自然。



We are the Champions



I've paid my dues, time after time

I've done my sentence, but committed no crime

And bad mistakes, I've made a few

I've had my share of sand, kicked in my face, but I've come through

And we mean to go on and on and on and on

We are the champions, my friends, and we'll keep on fighting till the end

We are the champions, we are the champions

No time for losers, 'cause we are the champions of the World

I've taken my bows, and my curtain calls

You brought me fame and fortune, and everything that goes with it

I thank you all, but it's been no bed of roses, no pleasure cruise

I consider it a challenge before, the human race, and I ain't gonna lose

And we mean to go on and on and on and on

We are the champions, my friends, and we'll keep on fighting till the end

We are the champions, we are the champions

No time for losers, 'cause we are the champions of the World

We are the champions, my friends, and we'll keep on fighting till the end

We are the champions, we are the champions

No time for losers, 'cause we are the champions

